

平成十年 『全日本柔道選手権大会』

混戦を制すのは誰だ!

「体重別選手権」100kg超級の覇者・篠原信一や兄弟対決で注目を集めた井上康生らが出場し柔道、日本最強の男を決めるこの大会
バルセロナ五輪金メダリスト・吉田秀彦の1年ぶりの復帰も見逃せない!



優勝候補



復帰

五輪で見せた 勇姿をもう一度

バルセロナ五輪の78kg級金メダリストの吉田秀彦(左)は、左ひじを痛めて昨年のこの大会以降、戦線を離脱していたが、1年ぶりに帰ってきた。「久しぶりの試合で、自分がどこまでやれるか確かめたい」と言う吉田。豪快な内股はまだ健在、この大会で復活劇を演じることができるのか!

W杯へのキップは誰にも渡さない

4月5日に行われた「全日本選抜体重別選手権」の100kg超級で、危なげない試合を見せた篠原信一(上)、体重無差別で行われるこの大会は、9月にベラルーシで開催される「第2回柔道ワールドカップ」の100kg超級の代表が選考を兼ねているため、どうしても負けられない。「体重別」の100kg級で兄の井上智和と兄弟対決で柔道界をにぎわした弟の康生など、勢いのある選手を抑えて、ワールドカップへのキップを手にしたいところだ。

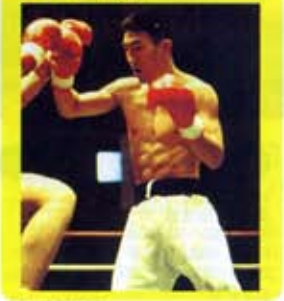
4月29日(水)開催

4月29日(水) 11:00AM 日本武道館
A指-6000 B指-4500 自-1500
講演会計課T03(3818)4179
※3:25PMよりNHK総合にて放映

『全日本キックボクシング』

初防衛戦

王者の強打炸裂!
全日本ウエルター級王者の鈴木達也(下)が階級1位の大谷浩二を迎えて、初めてのタイトル防衛戦に挑む。このふたりはこれまで3戦して、鈴木が2勝1敗で勝ち越しているが、2月に全日本ライト級王者の須藤信亮を破ったばかりの大谷の勢いは本物。ハードパンチャー同士の間合いを、王者は強打でモノにすることができるのか。



撮影: 新居あずみ

王者の意地を見よ!

2度目のムエタイ挑戦に臨む
エース候補・佐久間晋哉と
豪快な強打で初防衛を目指す
ウエルター級王者の鈴木達也
キック界のエース候補が登場!

4月29日(水)開催

4月29日(水) 4:00PM
昭和の森・メッセ昭島
A指-5000 B指-3000 C指-2000
全日本キックボクシング連盟事務局
T03(3505)1578



挑戦

ムエタイを越えられるか!

1月にWKA世界スーパーバンタム級王者に判定勝ちした佐久間晋哉。今回は前回以上の強敵に挑む。相手のウィッサヌックはムエタイで4位にランクされた実績を持つ。昨年7月に日本人キラーの異名を取るグライガンワーンの前に、敗れた佐久間にとって、2度目のムエタイ挑戦。エース格の立錫萬史、山田隆博が相次いでムエタイ選手に負けているだけに、全日本フェザー級王者の意地にかけても負けられない。



出走する25頭の中にあの名馬「ハイセイコー」の子供がいた。父とは違った小柄で、上品なカツラン「ハイセイコー」がその馬だった。

春のG1の中で最も注目される「日本ダービー」には、毎年有力馬がひしめき合うだけに、波乱が起こることが多い。事実6年前には6割以上の単勝支持率を得ていたハイセイコーでさえ、タケホップに敗れた。

中山競馬場の緑の木々の前を次々とサブレットが通過していく。父の果たせなかった「ダービー」制覇を狙うカツラン「ハイセイコー」は、6番手で最後の直線に入っていた。赤い帽子をかぶった騎手が、右手に持った白いムチを3度叩き込む。そうするとカツラン「ハイセイコー」は、一気に馬群を抜けて出てトツパンに躍り出た。残り200mにさしかかった時、突如、ハイセイコー「ハイセイコー」が沸き上がった。他の馬を寄せ付けぬ力強い踏み込みとバワフルな走り。そんな二世の姿がファンにはハイセイコーと重なって見えた。なごむ。追撃するリンドフルパンを轟轟と抑えて見事に「ダービー」を制したカツラン「ハイセイコー」の小さな体が大きく見えた。

甦れ!

ビデオで体験する感動の名勝負

名勝負

Number Video
「これは凄い!」
日本ダービー十番勝負

79年、カツラン「ハイセイコー」が「日本ダービー」を制覇。このレースのビデオは文藝春秋より2980円で全国の書店にて発売。